

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43	安全を考慮して上でのオムツ使用ではあるが、本人の生きる意欲、トイレでの排泄の爽快感を考え、トイレでの排泄に向けて検討、取り組みをしていく。	1、トイレでの排泄できる方を増やす 2、フォーレを抜去している時間をつくる	1、ADLが安定している方は日中はリハパン対応し、トイレ介助を行なう。 2、立ち上がり、起立の安定を図るため、医師、PTと相談をし、運動を行ない、筋力増進に努める。 3、フォーレを抜去している時間を設け自尿を促す。	6ヶ月
2	45	週2回の入浴だが、入居者の方の希望を伺い、回数が妥当なものか検討をしていく。	1、入居者の希望の入浴回数を把握し、満足のできる入浴回数にする	1、入居者に聞き取りを行なう。 2、満足のある回数を検討する。	3ヶ月
3	35	総合訓練、部分訓練をあわせて、年3回の消防訓練を行なっているが、夜間を想定した訓練、地域との協力体制の構築として地域住民や消防団を交えた訓練の実施をしていく。	1、夜間を想定した消防訓練を行なう 2、地域との協力体制の構築ができるよう、話し合いができる 2、地域との協力体制のある消防訓練を行なう	1、年間行事に夜間を想定した消防訓練を組み入れる。 2、町の職員に相談をしていき、地域の方に話をすすめていく。	12月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。